株式会社LSIメディエンス
INFORMATION
Vol.24-31 C-06
発行　2024年 8月

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(https://www.medience.co.jp/)よりPDF形式にてダウンロードできます。

検査内容変更のお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、別掲の項目につきまして、2024年10月より検査内容を変更させていただきますのでご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目／変更内容

- 別掲の一覧表をご参照ください。

変更期日

- 2024年10月1日(火)

LSIメディエンス
A Member of PHC Group
〈本社〉〒105-0023　東京都港区芝浦1-2-3
インフォメーション　TEL. 03-5994-2111
https://www.medience.co.jp/

総合検査案内
アプリはこちら
iPhone 用
Android 用

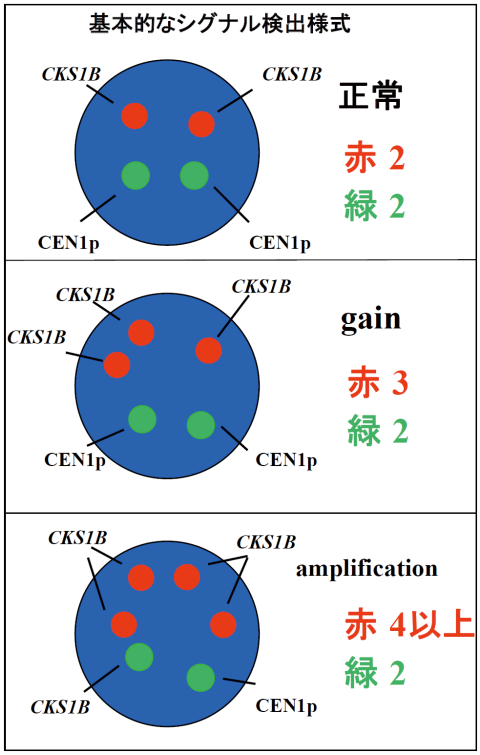
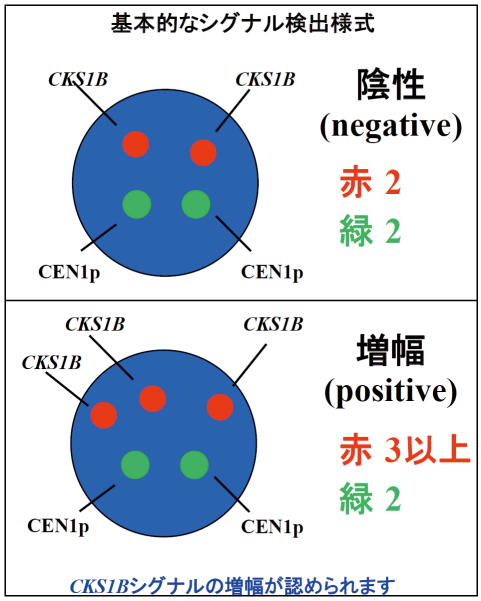
検査内容変更項目一覧

項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
45151	*CKS1B*［1q21増幅解析］	報告様式	詳細は2頁をご参照ください。		NCCNガイドライン準拠
25483	HPV型別	所要日数	5～17日	5～10日	
08129	HPV-DNA同定［中～高リスク型］《ハイブリッドキャプチャー法》		2～4日	2～3日	
01170	アデノ1型《NT》		9～21日	9～14日	
01171	アデノ2型《NT》				
00302	アデノ3型《NT》				
02784	アデノ4型《NT》				
01172	アデノ5型《NT》				
02785	アデノ6型《NT》				
00303	アデノ7型《NT》				
00304	アデノ8型《NT》				
00305	アデノ11型《NT》				
00362	エンテロ71型《NT》		11～23日	11～16日	
00401	コクサッキーA群7型《NT》		11～23日	11～16日	
00402	コクサッキーA群9型《NT》				
00404	コクサッキーB群1型《NT》				
00405	コクサッキーB群2型《NT》				
00406	コクサッキーB群3型《NT》				
00407	コクサッキーB群4型《NT》				
00408	コクサッキーB群5型《NT》				
00409	コクサッキーB群6型《NT》				
02789	エコー1型《NT》		11～23日	11～16日	
00397	エコー3型《NT》				
00398	エコー4型《NT》				
00399	エコー6型《NT》				
00400	エコー7型《NT》				
00299	エコー9型《NT》				
00300	エコー11型《NT》				
02791	エコー13型《NT》				
02792	エコー14型《NT》				
01193	エコー16型《NT》				
02797	エコー22型《NT》				
02799	エコー25型《NT》				
00301	エコー30型《NT》				
	嫌気培養用輸送容器	容器の変更	容器番号：35番 シードチューブⅡ	容器番号：34番 ケンキポーター 容器番号：35番 シードチューブ	販売中止に伴い容器を統一

CKS1B [1q21増幅解析]

結果判定をこれまで*CKS1B*（1q21）シグナルが3コピー以上認められた場合を増幅としていましたが、「NCCN Guidelines Version 4.2024 Multiple Myeloma」で推奨される報告様式に従いシグナルが3コピーの場合をgain（増加）、シグナルが4コピー以上をamplification（増幅）に分けて報告します。

報告書変更内容

	新	旧
検査結果	正常 「*CKS1B*（1q21領域）のgain・amplificationを疑う所見は認められませんでした。」 増幅 「*CKS1B*（1q21領域）のgainが認められました。」 「*CKS1B*（1q21領域）のamplificationが認められました。」	正常 「*CKS1B*領域の増幅を疑う所見は認められませんでした。」 増幅 「*CKS1B*領域の増幅が認められました。」
検査所見	*CKS1B*/CEN1pシグナル数比 正常：2/2 gain：3/2 amplification：≧4/2	*CKS1B*/CEN1pシグナル数比 正常：2/2 増幅：3≦/2
シグナル検出様式		

嫌気培養用輸送容器

嫌気培養用輸送容器を現在ご使用いただいているケンキポーター（容器番号：34）およびシードチューブ（容器番号：35）の販売中止により、シードチューブの後継品であるシードチューブⅡに統一いたします。新容器は既存品よりも培地が増量され、外気への曝露が抑えられています。また、ケンキポーターの後継品販売はございません。

なお嫌気培養のみならず微生物学的検査においては、検体の取り扱い方法が検出率に影響を及ぼします。検体の取り扱いにつきましては下記のガイドライン等をご参照ください。

・日本臨床微生物学会：検体採取・輸送・保存方法およびPOCT検査法ガイド（2022）
・日本衛生検査所協会：細菌検査検体取り扱いガイドライン、第2版（2023）

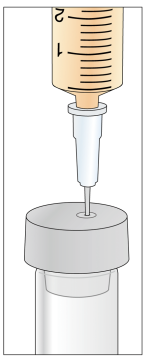
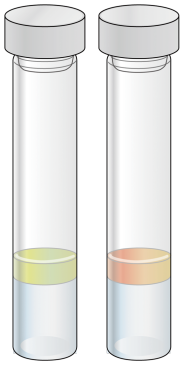
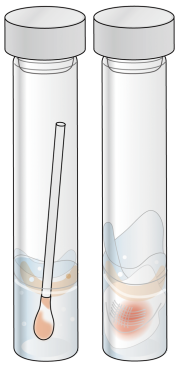
（新）嫌気培養用輸送容器

容器番号	35番
容器名称	嫌気培養用輸送容器（シードチューブⅡ）
容量	-
培地	カンテン、塩化ナトリウム、リン酸塩等
保存方法および有効期間	常温 / 外箱表示
主な検査項目	微生物学検査（嫌気性菌）

シードチューブⅡ使用方法

液体検体（穿刺液、消化液等）

①穿刺部（ゴムキャップ上の小円）を消毒用アルコール綿等で消毒します。
②注射針を穿刺部に垂直に穿刺し、液体検体を注入します。
③チューブラベルを貼付し輸送してください。
④検体は速やかに検査してください。
やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。

固形検体（膿、糞便、組織片等）

①ゴムキャップを消毒用アルコール綿等で消毒します。
②ゴムキャップを外し、固形検体を入れます。
検体は寒天の奥まで挿入してください。
※綿棒は長さ7cmまで入ります。それ以上のものは切断してください。
③ゴムキャップを速やかにしっかり閉めます。
④チューブラベルを貼付し輸送してください。
⑤検体は速やかに検査してください。
やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。